



コロナ禍のなかで～わかばの取組み

施設長 田畑 安敏

今年世界的にパンデミックをおこしている新型コロナウイルス、日本国内での感染者数は10万人を超え和歌山県では累計278人(11/4 現在)となっています。新型コロナは未知のウイルス、高齢者や有病者が感染すると重症化する危険が高いとされ、医療・介護事業所は戦々恐々の日々です。

特養わかばでは、「新型コロナウイルス対策報」を発行し(2月から10月までに第18報発行 写真①)、職員に知識・情報や対応方針を伝達してきました。施設内へのウイルス侵入を防ぐため、職員の健康管理に十分気をつけるとともに、可能な限り外部との遮断に努め、行事やイベントの中止、面会制限、外出禁止などの対応をとってきました。大変な不自由をおかけしている点、利用者・ご家族、関係事業所・取引業者みなさまのご理解・ご協力に感謝いたします。

10月15日、厚生労働省より「社会福祉施設における感染拡大防止のための留意点について(その2)」が通知され、その中では、地域の発生状況を踏まえ面会や外出を実施する場合の留意事項があらためて示されています。面会や外出についてはご家族様から要望が出されている事項でもあり、特養わかばでは、近く、今回の通知にもとづき感染対策を徹底しての面会・外出実施の方策について具体化します。また、11月中旬に和歌山県より感染対策現地アドバイザーを受けることになっており、その内容を活かしていきます。

一方、和歌山県民主医療機関連合会(和歌山中央医療生協の病院・診療所・介護事業所などが加盟、特養わかばも加盟)が、10月22日、新型コロナウイルス対策で、事業所の減収補填やPCR検査拡大と医療体制・保健所の強化、感染防止資材の調達など、和歌山県に緊急申し入れを行いました。(写真②) 特養わかばは、日本国憲法に基づき、国民のいのちと暮らしを守るべく、国や自治体の責務が適切に果たされるよう求めていく運動への参加も重視していきます。

特養わかばの諸とりくみに、みなさまのご意見をお寄せいただくとともに、ご理解・ご協力をお願いいたします。

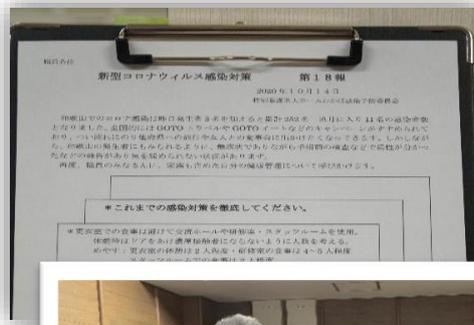


写真 1-18 報



写真 2-申入書
を手渡す和歌山
県民連佐藤会長
(小児科医師)

特別養護老人ホーム

わかば

〒640-8390 和歌山市有本 140

TEL (073) 475-0015 FAX (073) 475-0016

HPアドレス <http://www.nijiwakaba.com/> ※「にじわかば」で検索